

## 【高等学校の部・優秀賞】

### 今感謝するべきこと

沖縄県立開邦高等学校

三年 喜屋武 咲子

私は、沖縄が大好きです。

なぜかというと、みんな温かく優しく、困っている人には親身になって話を聞いてくれる人がたくさんいるからです。私は、好きな「沖縄」についてもっとたくさんの人に訪れてほしいし、また、戦争という決して忘れてはいけない大きな過ちがあった事実をちゃんと知ってほしいからです。

今年の五月一日に「ピースウォーク」という地域の行事に参加してきました。

それは、戦時中に使われていたガマに実際入ったり、米兵から逃れるために住民達が避難するのに使っていた道を歩くというものでした。

私は、最初ガマに入らないつもりでした。なぜかというと、ガマは暗くて恐いと思っていて中々、ガマの中に入る決心が出来なかったからです。しかし一緒にピースウォークに参加した友達が横についていてくれると言ったので実際に入ることを決意しました。

そこはやはり、暗く狭く恐い場所でした。ガマの中はとても人が数カ月間生活していた環境だとは思えません。私達が実際に入ったガマについて体験者の方は、

「ガマは本当によく再現されている。でも、一つだけ再現できていない物がある。それはあの当時のおいだ。」

とおっしゃっていたようです。そのガマは主に重傷患者の治療用として使われていたので、血やうみ、汗のにおい排泄物のにおい、当時は本当に我慢できないようなにおいの

中で生活を強いられていたそうです。

私は、体験者の話を聞いて、ほんの数十年前にこのようなことがあったということに強く衝撃を受けました。

今私達が当たり前のように笑いながら過ごすことが出来るのは、戦争を体験した人々が、あの当時、いろいろな恐怖と戦いながら毎日苦痛に耐えてきたおかげだと、ガマに入って初めて気付きました。

私達は、過去の失敗から目を背けてはいけない、事実を後世に伝えなければならないと思いました。

最近では、事実をきちんと伝えない教科書問題などが出てきています。確かにあまり良い歴史とはいえません。しかし、戦争体験者もどんだん年をとって私達高校生が、「戦争」という事実を直接聞くという機会は、昔に比べると確実に減ってきています。なので私達高校生は歴史について書かれた文字だけが過去を知るための手段となります。私は過去がどれだけ日本にとって不都合であったとしても、事実を隠さずきちんと教えるべきだと思います。

もし、伝えないといけないことがあるれば、また過去と同じ失敗をするかもしれない。多くのものを犠牲にして知ったこの「戦争」というものを何度も、くり返すというのは、あまりにも無意味だと思います。

私は、この「ピースウォーク」に参加して今、自分がおかれている状況がどれほど恵まれていて感謝しなければならぬかということに気付きました。当たり前のように食事をすることが出来て、安心して眠ることが出来る。悩みも少しはあるけれど、命に関わるようなことでもありません。なので今の私達はあの当時の人々が感じた恐怖を完全に理解

することは出来ません。

私がピースウォークで歩いた二時間は、とても長く感じました。いろいろ当時の人の気持ちを考えながら歩いたので、一歩一歩が重くずっしりとしていました。戦時中は死体が転がっているのが普通であり、もちろん食事や水もとれない。いつ死ぬか分からない。本当に歩くのが苦しかっただろうと思います。

私達は今一度、生きていることに感謝し、戦争という過去の大きな過ちを後世へ伝え、もう二度と戦争を起こすべきではないといろいろな人に考えてほしいです。一人一人が強く願い、戦争が起こる前にそれをくい止めることが出来れば、当時の人々の思いが報われると思います。

私は、私が生まれ育った沖縄という島が大好きです。なので、これからもこの島で過ごしたい、もつとこの島のことを知りたいです。戦時中に一生懸命生きようとしてくれた先人達が私達に継いでくれたウチナーンチュウの精神を私達も未来へ継いでいきたいです。